

公共交通を考えるワークショップ

第2回

この地域のくらしの足を
どうしたらよいか？

みんなで考える
ワークショップ

引田・代継・網代区域

《引田・湧上・代継》

日時：平成30年10月13日（土）
午前10時～午前12時（予定）

場所：千代里会館



ワークショップの実施にあたって

1) ワークショップとは

- もともとの意味は、「工房」や「作業場」。
- いろいろな立場・考えの人が集まり、一緒に作業することなどを通じて、お互いの意見を理解し合い、協力して新たな発見や共通の方向性を見出す場です。
- 意見を戦わせる「議論」の場ではありません。



このワークショップでも、さまざまな方が集まって、お互いの考えを尊重しながら自由に意見を出し合い、地区の交通について一緒に考えていきます。



ワークショップの実施にあたって

2) ワークショップの進め方

第1回（9月24日（月・祝））・・・開催済み
「ワークショップの目的と地域の現状を知ろう」

第2回（本日）
「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

第3回（11月23日（金）午後2時～）
「地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう」

地区にお住まいの方（抽出）に
アンケート調査を実施予定

第4回（平成31年1月14日（月・祝）午後2時～）
「地域の交通手段を考えよう」



ワークショップの実施にあたって

3) 本日のワークショップで行いたいこと

- 第1回ワークショップのふりかえり

⇒ 第1回ワークショップの結果を再度共有します

- グループワーク

(1) この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？

(2) (1)で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？

⇒この地区の公共交通はどのようなものが良いのかを、みんなで意見を出して共有します

- 交通手段の事例紹介

ワークショップの実施にあたって

4) ワークショップでの“約束”

- たくさんの意見・アイデアが大事です。正解はありません。思い切って自分の思いをお話ください。
- 考え方は人それぞれです。自由な意見交換ができる雰囲気づくりを心がけましょう。
(最初から意見を否定・非難しない。人の話をさえぎらないなど)
- みなさんがたくさんの意見を出せるよう、1人のお話が長くなり過ぎないよう心がけましょう。

ご協力お願いします！！



ワークショップの実施にあたって

4) ワークショップでの“約束”

- 会議ではいろいろな意見が出るとは思いますが、
「最後はまとめる」ことを心がけましょう。
- せっかくの機会なので、楽しく、前向きな意見交換をしましょう。（文句ではなく、リラックスして話しましょう。）

ご協力お願いします！！



第1回ワークショップのふりかえり

※詳しくは、別紙「第1回ワークショップ結果概要」参照。

■外出の目的と目的地

通勤・会議

- ・市内、八王子など
- ・都心

通院

- ・市内：公立阿伎留医療センターなど
- ・近隣市町：福生駅周辺

買物

- ・市内：東急ストア（秋川）、オザムなど
- ・近隣市町：日の出町のイオンが多い

その他

- ・飲み会：秋川駅周辺
- ・孫の通学の送迎：武蔵引田駅
- ・葬儀：日の出斎場
- ・習い事：日の出、市体育館など

第1回ワークショップのふりかえり

■交通手段

- 市内や近隣市町への外出は、基本的に自家用車を使用。
- 近所のスーパーへ行くときは、自転車・徒歩。
- 通勤ではバスの利用もある。
- 飲み会ときは、徒歩・バス。

第1回ワークショップのふりかえり

■外出で困っていること

- バス停が遠い、バスが不便。
- 自家用車以外の交通手段がない。
- 自家用車の運転ができなくなると、外出しなくなる。
- バスは本数が少ない。
- タクシーが不便（特に介護タクシーは料金が高い）。
- 武蔵引田駅周辺は、駐車スペースが少ない。
- 雨の日は雨具を用意して歩くため、荷物が多いと大変。

- 南北方向の交通手段がない。
- 南北方向の坂が大変（特に北行き）で、雪の日などは坂が上がりえず広い道まで出られない。
- 普段ほとんどバスに乗らないため、バスがどこまで行っているかも知らない。

第1回ワークショップのふりかえり

■ 外出で困っていること（続き）

- 断捨離で車を一台にしたため、夫婦間で車の取り合いが発生する。
- 高齢者でも免許を返納せず乗り続けている人が多いため、交通事故が不安。
- 斎場へは車でしか行けないので、お清めの席（通夜等）でお酒が飲めない。
- 自分で運転できない人は、生協やスーパーの宅配サービスを活用している。
- どのバスは乗ったことがなく、滅多に見ない。

本日のグループワークについて

第1回ワークショップ

地区の交通の
さまざまな問題

公共交通、道路、鉄道など・・・

ここから先は、地区内の公共交通（くらしの足）について考えていきます

- どのような地区内の公共交通がよいでしょうか？

「どのような」を
ばらして

(グループワーク1)

何が特に大事なことか
(優先的に必要か)
絞り込みます

(グループワーク2)

⇒その結果、この地区の公共交通
のテーマを浮き彫りにしたい 10

グループワーク（１）

お聞きしたいこと

これからもこの地区で住み続けるために、

この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思えますか？

※次のページの視点も参考にして、具体的にどのような機能や役割が必要か、思いつくことをどんどん挙げてください。



(参考) 地区の公共交通に必要な機能や役割を挙げる際の視点と例

視点	お聞きしたいこと	例
①対象者	利用者は誰でしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> • 車を運転できない人 • 免許を返納した人など
②運行のタイプ	どのような運行サービスが必要でしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> • 家や目的地の前（近く）まで来てくれる • あちこち寄り道する（あるいは、しない）など
③目的地	どこへ行くことができればよいでしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> • ○○病院 ・ ○○店 • ○○駅など
④運行の頻度	どのくらいの頻度で運行が必要でしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> • 1週間に○日 • 1日に○便など
⑤運行の時間帯	どのような時間帯で運行が必要でしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> • 朝と夕方 • 病院に合わせてなど
⑥料金	利用時の料金はどうかあるべきでしょうか？	-
⑦地域づくり、まちづくり	地域づくりなどの面でどのような機能が必要でしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> • 駅と地域を結ぶ • コミュニティをつくるなど
⑧その他	-	<ul style="list-style-type: none"> • 狭い道路を通行できるなど

グループワーク（２）

お聞きしたいこと

（１）で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？

※（１）で挙げたものから、例えば、特に「重要なもの」、「緊急に対応が必要なもの」などの観点を考慮して選んでいただければと思います。



次回予定

第1回「ワークショップの目的と地域の現状を知ろう」



第2回「地域の交通のあるべき姿を考えよう」



第3回（11月23日（金）午後2時～）会場：楓ヶ原会館
「地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう」

内容（予定）・・・変更になる可能性があります。

○素案の提示

第2回までの内容をまとめたものをご説明

○グループワーク

- ・素案を踏まえて、この地区の公共交通について、さらにみなさまと一緒に考えていきます。

※参加者募集時に予定していた「実地調査」は行わない予定です。
（グループワークにできるだけ時間を取りたいため）



(参考資料1) ワークショップについての補足

1) ワークショップ開催の趣旨

2000年10月
(平成12年)

るのバス開業

2015年度
(平成27年度)

公共交通の利用に関する市民意識調査の実施

2016年度
(平成28年度)

「あきる野市公共交通のあり方検討会議」を設置
⇒ 「あきる野市公共交通のあり方に関する提言書」

2017年度
(平成29年度)

「あきる野市公共交通のあり方検討報告書」
⇒ 優先的に公共交通対策を検討する必要がある地区を、市が「公共交通優先検討区域」と設定



〔深沢区域、引田・代継・網代区域、
草花折立下区域、東秋川橋西側区域〕

「引田・代継・網代区域」も該当

ワークショップを開催して、地区の交通の現状、課題、あり方などについて、地区のみなさまと一緒に考えていきます。

2) ワークショップを行う理由

- ① 区域の皆様が日ごろ交通手段をどうされているかは区域の皆様にお伺いするのが一番です。
- ② 様々な交通手段を考えるために、区域の皆様からご協力いただける部分があるのかどうかをお教えてください。
- ③ 公共交通対策などを進めるに当たり、市民の皆様と行政とで共通の認識を持つことが必要です。



そのため、この取り組みへ積極的な参加・ご協力をお願いします。

3) ワークショップの成果

ワークショップの成果（予定）

ワークショップ（第1回～第4回）



「新たな公共交通の導入は必要なのか」、
「必要な場合、どのような交通手段を入れるのがよいか」
ということについて、地区としての案をまとめます。



今後の取り組みを進めるうえでの検討材料として活用。

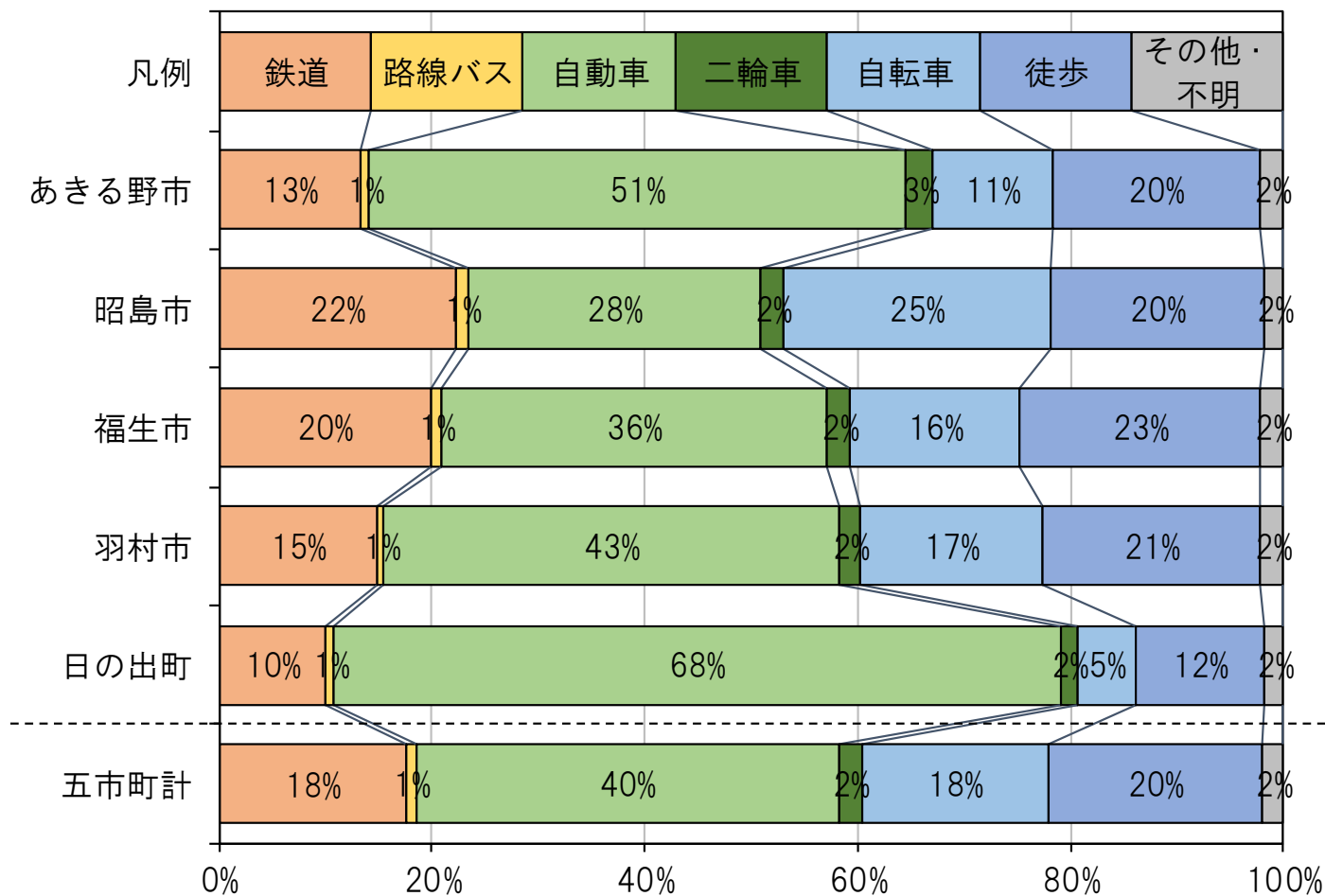
- 市が設定した4つの「公共交通優先検討区域」（深沢区域、引田・代継・網代区域、草花折立下区域、東秋川橋西側区域）での案を踏まえ、この4つの区域の内、優先的に対策が必要な区域がどこかを考えます。
- 来年度以降、実証実験の実施について検討します。

(参考資料2) あきる野市と近隣自治体の比較

1) 交通手段の利用状況

- あきる野市では、近隣の自治体と比べても自動車が多く利用されています。

■ 交通手段別の利用率



出典：東京都市圏パーソントリップ調査「目的種別・代表交通手段別OD表」（東京都市圏交通計画協議会、H20）より作成
 ※対象自治体における全ての目的の発生・集中量を代表交通手段別に集計。なお、出典が異なるため、第1回ワークショップでの資料とは値が異なります。

2) バス交通などに関する経費

- ・あきる野市では、歳出総額の0.1%がバス交通などの費用に当てられています。
- ・近隣には、より多くの割合で費用を負担している自治体もあります。

■バス交通などに関する経費

自治体名	年度	歳出総額	項目	費用		備考
				金額	歳出総額に占める割合	
あきる野市	平成29年度	302億円	①循環バス運営費補助金	1,195万円	0.04%	るのバスの補助
			②生活バス路線維持費補助金	1,629万円	0.05%	路線バスの補助
			③スクールバス運行委託料	600万円	0.02%	
			④盆堀地域交通対策事業経費	121万円	0.004%	
			合計	3,545万円	0.1%	
福生市	平成28年度	256億円	①福祉バス運行委託料	2,232万円	0.1%	市内在在の高齢者、障害者等のための無料市内循環バス
			合計	2,232万円	0.1%	
羽村市	平成28年度	227億円	①コミュニティバス運行補助金	5,534万円	0.2%	はむらんの補助
			②高齢者福祉バス運行委託料	901万円	0.04%	市内の老人クラブ連合会、老人クラブを対象に運行するバス
			合計	6,435万円	0.3%	
日の出町	平成29年度	88億円	①循環バス運行委託料	1,701万円	0.2%	無料の町民専用コミュニティバス
			②バス運行に伴う補助金	819万円	0.1%	路線バスの補助
			③高齢者外出支援バス運転手賃金	831万円	0.1%	町内在住の高齢者向けバス
			④おでかけ支援ドリームカー事業業務委託料	280万円	0.03%	主に下肢等が不自由な高齢者、障害者を対象とした外出送迎支援
			⑤児童輸送用車両運転手賃金	313万円	0.04%	町内3小学校の1年生を対象とした輸送用車両を運行
			合計	3,945万円	0.5%	
昭島市	平成28年度	426億円	①交通機関対策事業	4,837万円	0.1%	鉄道事業者・バス事業者への各種要望、コミュニティバスの補助等
			②昭島市美堀町地域路線バス運行事業補助金	不明	-	美堀町地域で、既存のルートの一部変更し、バスを運行する補助
			合計	-	-	

出典：各自治体の歳入歳出決算書、事務事業評価（昭島市）、補助金交付要綱（昭島市）。※昭島市は、決算書に歳出項目の明細が掲載されていないため詳細不明。
 ※決算書から整理した数値であり、あきる野市以外の市町に確認をとった数値ではありません。また、各市の状況はそれぞれ異なるため、この数字が単純に交通対策の力の入れ具合を示すものとはいええないことに注意が必要です。